

# かわさき協働通信



協働・連携による暮らしやすい地域社会を目指して 川崎市総合企画局自治推進部



## 川崎市協働・連携のあり方検討委員会発足

平成26年12月、10名の委員でスタート。名和田委員（法政大学）を委員長に選出。



第1回委員会の様子

地域課題の解決を促進し、暮らしやすい地域社会の確立を目指すため、多様な主体との協働・連携のあり方について検討する「川崎市協働・連携のあり方検討委員会」が平成26年12月3日、スタートしました。

地域の現場で活躍する方や学識経験者、公募市民の10名が委嘱され、川崎市総合企画局瀧峠局長より委嘱状が交付されました。

### 委員会では何を検討するのか？

平成27年度にかけて9回程度の会議を開催し、協働・連携の担い手や手法が多様化している現状を踏まえた、協働・連携のあり方について検討します。

第1回委員会では、各委員が普段の活動現場で経験している実状や課題などから、審議の進め方や委員会で取り上げるべきテーマについて意見交換しました。



瀧峠総合企画局長から委嘱状を受け取る小倉委員

### 委員コメント：今感じている課題、委員会で検討したい内容など

#### 委員長

**名和田 是彦 委員**  
(法政大学法学部教授)

川崎の実態に即した協働・連携を考えていく必要があります。

委員長として、責任を持ってとりまとめていきたい。



#### 副委員長

**岸本 幸子 委員**  
(公益財団法人  
パブリックリソース財団)

高齢者見守り・就業支援など協働・連携で解決を図らなければならない課題を、具体例から取り上げて検討したい。



協働＝共通の目的のため、それぞれの役割と責任の下で、相互の立場を尊重して、対等な関係に立って協力すること

委員コメント：今感じている課題、委員会で検討したい内容など（つづき）



**岩本 誠史** 委員  
(富士通株式会社川崎支店)

ビッグデータを活用した地域貢献で、地域のニーズとデータを、うまくつなげていきたい。



**小倉 敬子** 委員  
(公益財団法人  
かわさき市民活動センター)  
企業やソーシャルビジネスなど、新たな主体との連携・協働のしくみや制度の整備がいそがれる。

**齊藤 準** 委員  
(社会福祉法人  
川崎市社会福祉協議会)  
ローカルな市民活動を育てる方法、必要な情報を必要としている人、特に社会的弱者に届ける方法を考えたい。



**下川原 彩** 委員  
(公募)  
若い世代を巻き込みながら、多様な方々と力を合わせ、一人ひとりが役割をもってイキイキと生きる地域づくりに貢献していきたい。



**末吉 一夫** 委員  
(川崎市全町内会連合会)  
若い世代の地域貢献志向を、町内会・自治会などの地域活動と結びつけ、うまく育てていくしくみがほしい。



**治田 友香** 委員  
(関内イノベーション  
イニシアティブ株式会社)  
市民同士の連携は、行政ではできない柔軟な形ができる。多様な主体が力を発揮できる環境を考えたい。



**廣岡 希美** 委員  
(NPO法人ぐらすかわさき)  
市民がより主体的に活動していくために何が必要か。誰が地域課題をみていくのかというところからの検討が必要だ。



**村瀬 成人** 委員  
(公募)  
中間支援がまだうまく機能していないと感じる。地域レベルから市民の活動をまとめていくしくみをつくりたい。



これまでの川崎市の施策や取組



第2回委員会 1月26日（月）16時から

高津区役所5階 第1会議室

議題：川崎市の協働・連携の現状の確認、検討する論点の整理など

- 傍聴ができます。ご興味のある方はぜひお越しください。
- 詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/42-3-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



KAWASAKI CITY

●事務局●

川崎市総合企画局自治推進部

TEL 044-200-2168

FAX 044-200-3800

20ziti@city.kawasaki.jp